

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年5月1日

事業所名 Dotti house

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			学習と遊ぶ場所など活動スペースをわけています。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		角ヘクションガードを付けるなど安全面を工夫しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者よりいただいたご意見を参考に、職員間で話し合いながら業務改善に繋げられるよう努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当法人のホームページにていつでも閲覧可能です。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後は第三者による外部評価を行っていく事を視野に入れていきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部・内部研修へ積極的に参加をしています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		相談支援事業所など関係機関とも密に連絡を取り合い、情報の共有等を行っています。	必要に応じてアセスメントを行い、常に適切な支援を提供できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラムの内容が偏らないよう講師と相談しながら取り組み内容を立案しています。	日々のイベントや集団レクに加え、音楽や造形教室など特化プログラムを取り入れています。平日や長期休暇など状況に応じて、学習・課題プログラムの時間を長く設けたり、お出かけやクッキングなども行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			学習や課題を個人活動とし、特化プログラムや集団レクを集団活動にわけて取り組みを行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			ミーティング時などにその日の利用者の状態や重要事項について共有を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		経過報告書を作成しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		相談支援事業所など関係機関とも密に連絡を取り合っています。	必要に応じてモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			相談支援事業所など関係機関と施設管理者・キーパーソンの職員が参加をし、デイの様子など詳しく情報を伝えられるようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			地域の学校へ通われる利用者が多い事もあり、担任・副担任と電話や引継ぎの際などに利用者の情報共有を積極的に行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			必要に応じて利用者の情報提供を積極的に行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			外遊びの際などに公園などで地域の方と交流出来る時間があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今後は積極的に参加をしていきたいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			保護者や関係機関と密に連絡を取り合っているため、利用者の課題など共通の理解を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時など必要に応じて説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談支援員とも連携をとっているため、瞬時に適切な対応ができています。	保護者の求める相談内容について、瞬時に適切な対応を行えるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		感染症対策などその時の状況に応じて開催を行っています。	父母の会の代わりとして、保護者も参加できる施設合同遠足を開催しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Facebookを月1回配信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			保護者と密に連絡を取り合い、些細な情報も逃さないよう努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っている	○			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			感染予防マニュアルなど作成し、保護者へも配布する事で周知していただいています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		3月と9月に避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			外部・内部研修へ参加をしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者・本人へ説明を行った上で、分かりやすい場所へアレルギー一覧を掲示しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例を元に内部研修を行い、情報の共有を行っています。